

田村地区だより

9月号 No.186号

令和2年(2020年)

8月25日発行

発行責任者 田村地区活性化協議会

会長 前田 史由

〒 629-3432

京丹後市久美浜町平田 672

TEL・FAX 0772-83-1142

ご意見・ご感想は果樹センターまで

田村再発見

田村の自然その4

「幻のアユモドキ」

みなさん「アユモドキ」をご存じですか。「アユモドキ」は、コイ目、ドジョウ科の魚です。日本の固有種です。昭和52年に天然記念物に指定されました。京都府指定希少野生生物です。琵琶湖・淀川水系や岡山県の河川では、よく見られるようです。

皆さんの中には、宮津の「魚つ知館」(関西電力エネルギー研究所)の水槽で、ご覧になった方もおられると思います。鮎に似ていますが、ドジョウのようにひげがあります。体長は10〜13cmです。鱗で体は覆われていますが、手で捕まえるとぬるっとしてます。(写真)

その、「アユモドキ」が田村地区に生息しています。大井区の大谷川水系で確認されます。川底に砂礫、岩場や砂泥があり、近くに水田がある、水温が30度を超えないような所が、「アユモドキ」の生息には適していると言われてます。大谷川水系は、そのような環境が保たれています。数が減っているの

で、そっと見守りたいです。田村には、佐濃谷・三原川とその支流に、多くの種類の魚が生息しています。50年程前に比べると、その姿が少なくなりましたが、山王

橋や大井橋からは、今も普通にカワムツ・オイカワ(田村では、「もと」「はえ」「はや」等と呼ばれている。オイカワは、夏の産卵期に虹色になる。)の姿は見られますし、川や溝、田んぼに入ると、ドジョウやナマズやフナ、鯉の姿も見られます。メダカの生息も確認できます。ギギやハゼ(ぐず)は、なかなか見られませんが、まだまだ、田村の佐濃谷・三原川水系の自然環境は守られています。田村の大切にしたい物の一つです。

※ギギやハゼ(ぐず)、スナヤツメ(ななめ)等、今では珍しい魚の生息を確認された人がおられたら、お知らせ下さい。



アユモドキ

9月の田村地区

かぶと山小学校

- 4日(金) 5年社会見学
- 11日(金) 1~4年社会見学
- 29日(火) 運動会(2・3校時)予備日(10/2)
- 30日(水) 6年大地の学習
- 1日(火)~3日(木) 授業参観

かぶと山こども園

- 2日(水) こども園でおしゃべり会 &子育て相談
- 4日(金) 園開放日
- 11日(金) 親子ふれあいデー(園庭開放)
- 16日(水) 誕生会
- 18日(金) 園開放日
- 25日(金) 親子ふれあいデー(園庭開放)
- * 15日(火)・24日(木)・30日(水) 運動会総合練習

田村ゆめゆめ里

田村地区の皆様こんにちは。8月に入り、猛暑が続いています。今年の夏は感染症と熱中症のどちらも予防せねばならず、事業所でも様々な工夫をしながら過ごしています。独居のご利用者も多く、訪問時に飲み物を飲んでいたり、室温管理をさせていただく等、積極的に働きかけを行っています。

事業所では畑で収穫したニンニクで餃子を作ったり、職員が手打ちした蕎麦をふるまう等、コロナ禍でも楽しめる“食”で日常に彩りを添えています。

【認知症あんしんサポート相談窓口について】

田村ゆうゆうの里では、認知症を発症された方やその家族等に対して、認知症の知識や介護技術の面だけでなく、精神面も含めた悩み関する相談に対応するとともに、必要に応じて医療、介護、福祉等の関係機関に繋ぎ、継続的な支援を実施することを目的とした相談窓口を設置しています。

お困りごとやどこへ相談してよいか分からない等の場合には、ご利用ください。



～*～ お願い ～*～

田村体育館の外トイレが何度か詰まり水が流れず溢れることがあり、女子トイレの便器の中にトイレットペーパーがそのまま入っている事もありました、そのたび管理人さんが片づけをしてくれています。

故意にされてるとは思いませんが、みんなで使うトイレですので、綺麗に使用して下さい。 田村地区活性協議会

「田村地区運動会」中止のお知らせ

今年に入り新型コロナウイルス感染症が流行し、京丹後市でも感染された方が確認されました。

楽しみにしていた行事が次々と中止になり残念ですが、皆様の健康・安全を第1に考え協議した結果、地区運動会を中止とさせていただきますこととなりました。 田村地区公民館